

# 福田 平八郎展

FUKUDA  
Heihachiro

2007年4月24日(火) — 6月3日(日)

開館時間 午前9時30分〜午後5時(入館は午後4時30分まで)

夜間開館 毎週金曜日午後8時まで(入館は午後7時30分まで)

主催 京都国立近代美術館、京都新聞社 協力 大分県立芸術会館

休館日 毎週月曜日(4月30日は開館)

京都国立近代美術館 [岡崎公園内]

〒606-8344 京都市左京区岡崎四勝寺町 電話 075-761-4111

テレホンサービス(展覧会の案内) 電話 075-761-9900 ホームページ <http://www.monak.go.jp>

文化

《鸚哥》 昭和39(1964)年





閑庭待春 大正14(1925)年 京都市美術館蔵



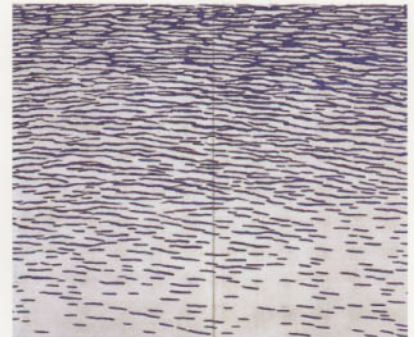
牡丹 大正13(1924)年 山種美術館蔵 展示期間:4月24日~5月20日

中国の宋元風院体花鳥画に影響を受けた《牡丹》、桃山障壁画に影響を受けた《閑庭待春》、古典から訣別した《朝顔》、湖のさざ波だけを画面一杯に描き、写実と装飾が一体となった独自の画風を作り出した《漣》、それに続く《新雪》、《雨》、《水》、《花の習作》など、画風の変遷はありましたが、一貫して写生に立脚した花鳥画を描き続けた福田平八郎の初期から最晩年までの作品約80点を展示する本展は、ゆかりの地京都では久しぶりの大規模な回顧展となります。本画だけでなく、そこに至るまでの写生帖や素描、下図も併せて展示することにより、画家が何を見、描こうとしていたのかをよりよく理解していただける、またとない機会になるに違いありません。

大分市内に生まれた福田平八郎(明治二五年―昭和四九年)は、明治四三(一九一〇)年、画家を志して京都へ出、翌年京都市立美術工芸学校に入学、卒業制作が学校の買い上げとなるなど、優秀な成績を修めます。進学した京都市立絵画専門学校本科在学中から文展に出品し、3回落選の憂き目に遭いますが、大正八(一九一九)年文展を改組した第1回帝展に初入選した後は、一〇年第3回帝展に出品した《鯉》が特選を受賞したうえに宮内庁買い上げとなるなど、官展系展覧会を中心として活躍しました。昭和二四(一九四九)年、第1回毎日美術賞を受賞、三六年には文化勲章を受章し、文化功労者に挙げられますが、同年を最後に日展への出品を止め、中、小品の自由な制作を行うようになります。

2007年4月24日(水)~6月3日(日)

# 福田 FUKUDA Heihachiro 平八郎展



漣 昭和7(1932)年 大阪市立近代美術館建設準備室蔵 展示期間:4月24日~5月13日

## 記念講演会

### 「福田平八郎のまなざし」

講師:島田康寛氏(立命館大学文学部教授)

日時:5月19日(土)

時間:午後1時30分~午後3時

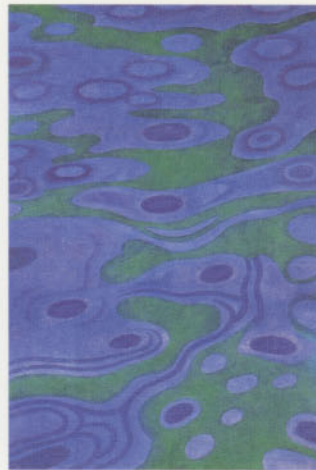
会場:京都国立近代美術館 1階講演室

※聴講無料、定員100名、午前11時から整理券発行いたします。

観覧料	当日	前売	団体
一般	1200	1000	900
大学生	900	700	500
高校生	600	400	300

※中学生以下、心身に障害のある方と付添者1名は無料(入館の際に証明できるものをご提示ください)  
※チケットぴあ・ファミリーマート(Pコード:687-275)、ローソンチケット(Lコード:52862)、主要プレイガイドほか

※団体は20人以上 本料金でコレクションギャラリーもご覧になれます。



水 昭和33(1958)年 大分県立芸術会館蔵



雨 昭和28(1953)年 東京国立近代美術館蔵

- JR・近鉄京都駅前(A1のりば)から市バス⑤岩倉行「京都都会館美術館前」下車すぐ
- JR・近鉄京都駅前(D1のりば)から市バス⑩(急行)銀閣寺行「京都都会館美術館前」下車すぐ
- 阪急烏丸・河原町駅、京阪三条駅から市バス⑤岩倉行「京都都会館美術館前」下車すぐ
- 阪急烏丸・河原町駅、京阪四条駅から市バス④平安宮行「京都都会館美術館前」下車すぐ
- 市バス他系統「東山二条」または「京都都会館美術館前」下車徒歩約5分
- 地下鉄東西線「東山駅」下車徒歩約5分
- お車で越しの場合、岡崎公園駐車場(地下)をご利用の有料入館者は、駐車場の割引(1台1名)を受けられますので駐車券をお持ちの上お越し下さい。

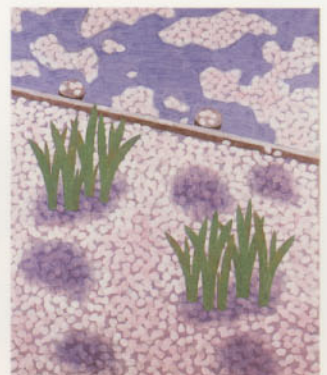


## 京都国立近代美術館 [岡崎公園内]

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町 電話 075-761-4111  
テレホンサービス(展覧会のご案内) 075-761-9900 ホームページ <http://www.momak.go.jp>



鯉 昭和38(1963)年 愛媛県美術館蔵



花の習作 昭和36(1961)年 京都国立近代美術館蔵